

薬物に依存するとは？——武蔵野タルク顧問医で精神科医の香山リカさんは、『「今ここ」を逃れるための自己防衛の失敗』だと回答する。「認めたくないことを記憶から切り離し、生き延びるための自己防衛手段として薬物に手を出し、『楽になった記憶』が脳に残る。居心地のよい『ここ』を継続するために薬物への要求を持ち続けてしまう」完治できない脳の病気とも。女性専用入寮施設「武蔵野タルク」日野市に開設を機に、社会復帰を支える関係機関のネットワーク化が図られようとしている。

日野・生活者ネットワーク市議会議員 ●吉岡 なつえ



日野市・市教育委員会の後援を得て行った「広がる薬物依存の学習会」で、当日参加した女性入寮者の心情を含め報告に立つ、日野・生活者ネットワーク市議会議員の吉岡なつえ。7月15日

生活と政治をつなぐ情報紙 生活者通信

東京・生活者ネットワーク

No.276

2014.9.1

※毎月1回1日発行
※1994年5月23日第三種郵便物認可

■発行 東京・生活者ネットワーク
■〒160-0021
東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル5階
TEL03-3200-9189 FAX03-3200-9274
■Eメール tokyo@seikatsusha.net
■ホームページ <http://www.seikatsusha.me>
■発行責任者 西崎光子
■定価 年間1000円・1部100円
■郵便振替口座 00130-3-18417

都 都議会第3回定例会開催9月17日(水)
～10月3日(金)。

ネット●杉並 使用済みてんぷら油の
回収 平日11:00～17:00 杉並・生活者
ネットワーク事務所内 TOKYO油田2017ブ
ロジェクト回収ステーション(南阿佐ヶ谷駅)
使い終わった食用油をバイオディーゼル燃料
などに再資源化します
●国立 国立大学通り景観・市民自治裁判
判決言い渡し 9月25日(木) 13:15～ 東
京地方裁判所703号法廷(霞ヶ関駅) 傍聴案
内:くにたち大学通り景観市民の会
●調布 講演「穏やかな最期を迎えるために」
10月4日(土) 13:30～15:30 調布市民ブ
ラザークホール(国領駅) 講師:石飛幸三
さん(蘆花ホーム常勤医師) 参加費300円
要申し込み(080-4176-0715) 主催:調布介
護者の会クローバー
●調布 まちづくりウォッチ&ワークショッ
プ 10月7日(火) 詳細未定

多摩地域初！女性薬物依存患者のリハビリ・社会復帰を支援する、当事者主導型民間施設 タルク女性入寮施設 日野市に開設

危険ドラッグが関係する事件や
事故が相次ぐ中、女性専用の民間
入寮施設「武蔵野タルク」が開設
された。

日野・生活者ネットワークはこの施設を
見学後、行政や地域社会の取り組み
に焦点をあてて地域の運動グルー
プと共に学習会を企画。日野市・市
教育委員会の後援を得て行った学
習会には、行政職員や施設入寮者
地域で薬物乱用防止活動など、様々
な活動をしている市民らが多数参
加。グループ討議では、日野にタル
クができたことを排除せず、知識を
得ることや予防啓発、社会復帰を
支える地域づくりが重要など活発
に意見が交わされた。またこうした
出会いから、今年の「水辺の調査」
に入寮者が参加。タルクを支える
活動を広げる第一歩となった。

後を絶たない 女性薬物依存者からの相談

タルク施設長の渡辺智子さんは
「ただ薬物を中止するだけではフ
ラッシュバックやトラウマに直面
し、苦しく辛い『今ここ』に引き戻

注:タルク(DARUC)=Drug Addiction Rehabilitation Centerの頭文字からなる造語

てしまう。医療機関に辿り着いても、
薬物から処方箋(抗精神薬・抗うつ
薬・睡眠導入薬など)へと依存が移っ
ただけというケースも多い。刑務所
や精神病院から出たものの居場所
が探せず、孤立して『生きること
も死ぬこともできない』苦しみか
ら抜け出せないでいる女性薬物依
存者からの相談が後を絶たない」と
語る。DV被害を背景に持つ女性
も多く、暴力が自分を薬物に向か
わせたとの自己憐憫で被害者意識
が強かったり、依存から脱けたくて
も世間体を気にする夫の同意が得
られず、離婚に至ってやっと治療が
可能になったものの、所持金のない
まま施設に辿り着く事例も。

都立保健福祉センター:薬物依存者、家族などからの相談窓口。 http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/shisetsu/c_tantou.html

入寮者は、まず「自分のことは
自分でする」ことをタルクで学ぶ。
誰かに依存するより他に術を持た
なかった自分から抜け出すためだ。
生活習慣の改善により、当たり前
の日常生活と自尊心を取り戻し、
他者との信頼関係の構築・自己選
択・自己責任・セルフケアなど12
ステップ・プログラムで人間性の
回復を果たしていく。

タルクの活動は、依存者の回復に
より、その人によって引き起こされ
ていた社会的損失(医療費・裁判
費用・受刑コスト・労働力の損失な
ど)を軽減することにつながる。

世代間連鎖を止める 支援体制が急がれている

ようやくタルクの活動が全国に
広がりをみせている。しかし、女
性に特化して支援を行うタルクは
全国6カ所(岐阜・栃木・東京・
大阪・高知・宮崎)、母子共に入寮
できる施設は現在一つもない。世
代間連鎖に陥りやすいことから、
ジェンダーの視点を包括したプロ
グラムと支援に必要なマンパワー、
専門性を保障する費用負担を含め、
関係機関のネットワーク化、さら
には地域が理解して受け入れるな
どの支援体制づくりが急がれる。

あんてな

3.11 フクシマを忘れない 原発のない未来をアクション in TAMA 奥地直樹

福島原発事故以来、多摩市民を中心としたネットワー
クで活動してきた「3.11 フクシマを忘れない 原発のない
未来を TAMA 実行委員会」は、原発をベースロード電源
と位置づけ再稼働に積極的姿勢を示す政権に対し、アク
ションの頻度を高めることにしました。

長く続く戦いの中、「脱原発と被災地フクシマを忘れない」と掲げ、輪を大きく広げていくことが重要と考え、今
秋はより緩やかにつなぐ、誰でも気軽に参加できるアク
ションを企画しました。

9月14日(日)に多摩センター三角広場などで「フク
シマまで届け! オフグリッドライブ&デモ ～3.11 アク
ション in TAMA ×脱送電線ライブ～」を行ないます。送
電線からの電気を使用しない「脱・送電線ライブ!」との
コラボレーションによる音楽や「原発ゼロノミクスキャン
ペーン」公式キャラクター・ゼロノミクスくんのパフォー
マンス、アピールの後、多摩センター駅周辺でのウォーク
とリレートークで訴えます。【実行委員会メンバー】

●「フクシマまで届け! オフグリッドライブ&デモ ～3.11アク
ション in TAMA ×脱送電線ライブ～」
日時: 2014年9月14日(日) 11:00～13:20ライブ 13:20～
14:00ウォーク(パレード) ※雨天中止(実施有無の告知は下記
Facebookページで行ないます) 場所: 多摩センター三角広場(多
摩市落合1-68) および多摩センター駅周辺 Facebookページ:
<http://www.facebook.com/311tama>

▶永山で集会後、聖蹟桜ヶ丘まで脱原発
をアピールしながらデモ。2013年3月
▼バルテノン多摩を会場に多摩市に避難
されている福島原発事故被災者との交流・
トーク&ライブ・展示などを実施した初回
の3.11アクションin TAMA。2012年3月

